

「ウイルスに感染？」サポート詐欺に注意！

vol.10

消費者トラブル
ニュース

【事例】自宅パソコンでネット検索をしていたところ、突然「お使いのパソコンがウイルスに感染しています」と表示され、警告音が鳴り響きました。すぐに、セキュリティソフトをインストールするよう表示が出たので、画面を進めたところ、サポートセンターに電話をかけるようにと書かれた画面が出ました。不安でしたが、サポートセンターに電話をかけたところ、カタコトの日本語で説明され不安になりました。どうしたらいいのでしょうか？



【アドバイス】

- 「ウイルスに感染」と表示されたら、まずは利用中のセキュリティソフトの表示が見極めよう。
- セキュリティソフトのインストールを誘導する画面や電話番号が出ても「インストールしない」「電話もかけない」
- セキュリティソフトをインストールしてしまった場合は、「アンインストール」「システムの復元」処理を行きましょう。
- 「クレジットカード決済」「コンビニ決済」で20万円以上の請求を受けた場合もあり、注意が必要です。決済してしまった場合は、すぐにご相談ください。



福田登代子 相談員



怪しいと思ったら、すぐ決めず相談を！

お問い合わせ先 82-1112 【役場住民課】消費生活相談窓口

*お気軽に消費生活相談窓口をご利用ください。

日南町役場住民課 82-1112 (平日) 鳥取県 黒坂警察署 74-0110
鳥取県消費生活センター 0859-34-2648 (平日・土日)

秋はクマにとって、冬眠に備えて大量の食物を必要とする季節だということをお話しました。今回はクマとの付き合い方のお話ですが、出会わなければ付き合う必要はないんです。でも出会ってしまうんです。では、出会いのきっかけはなんなのでしょう？ 出合いは大きく分けて二つ、山中で会うか、里の中で会うかです。まず一つめ。山菜やキノコ採りはクマの食物が豊富な場所で行われることが多く、人もクマも採集に夢中で、お互いの存在に気が付くのが遅れ、出会ってビックリ！事故発生...という状況です。

二つめ。前回、クマは冬眠に備えて秋にたくさん食べる必要があるカリカリ源である堅果類が凶作であった場合、クマは食物を求め山中をたくさん移動します。そんな折、人里という桃源郷に迷い込んでしまうのです。そこで、たくさん柿や栗という甘くおいしい栄養価の高い果実を見つけ、人里近くに

獣害対策 アップデート

第4回 クマの話② 食欲の秋

日野郡鳥獣被害対策協議会
川野 風花
【問い合わせ】72-1399



居ついてしまうという出会い方です。このように、クマの行動範囲と人間の行動範囲が重なったときに問題が発生してしまうのです。ですので、クマとは出会わない付き合い方が求められます。例えば、山中はクマの生活行動範囲です。入山する際には、ラジオやクマ鈴でこちらの存在をクマに気づかせることで出会いを避けることができます。人里では柿や栗、ハチミツなどの好物があることを気づかれやすいようにすること、クマが隠れやすい場所を作らないことが重要です。では、人里における対策について、クマの多い地域での例を参考に次回お話ししたいと思います。

